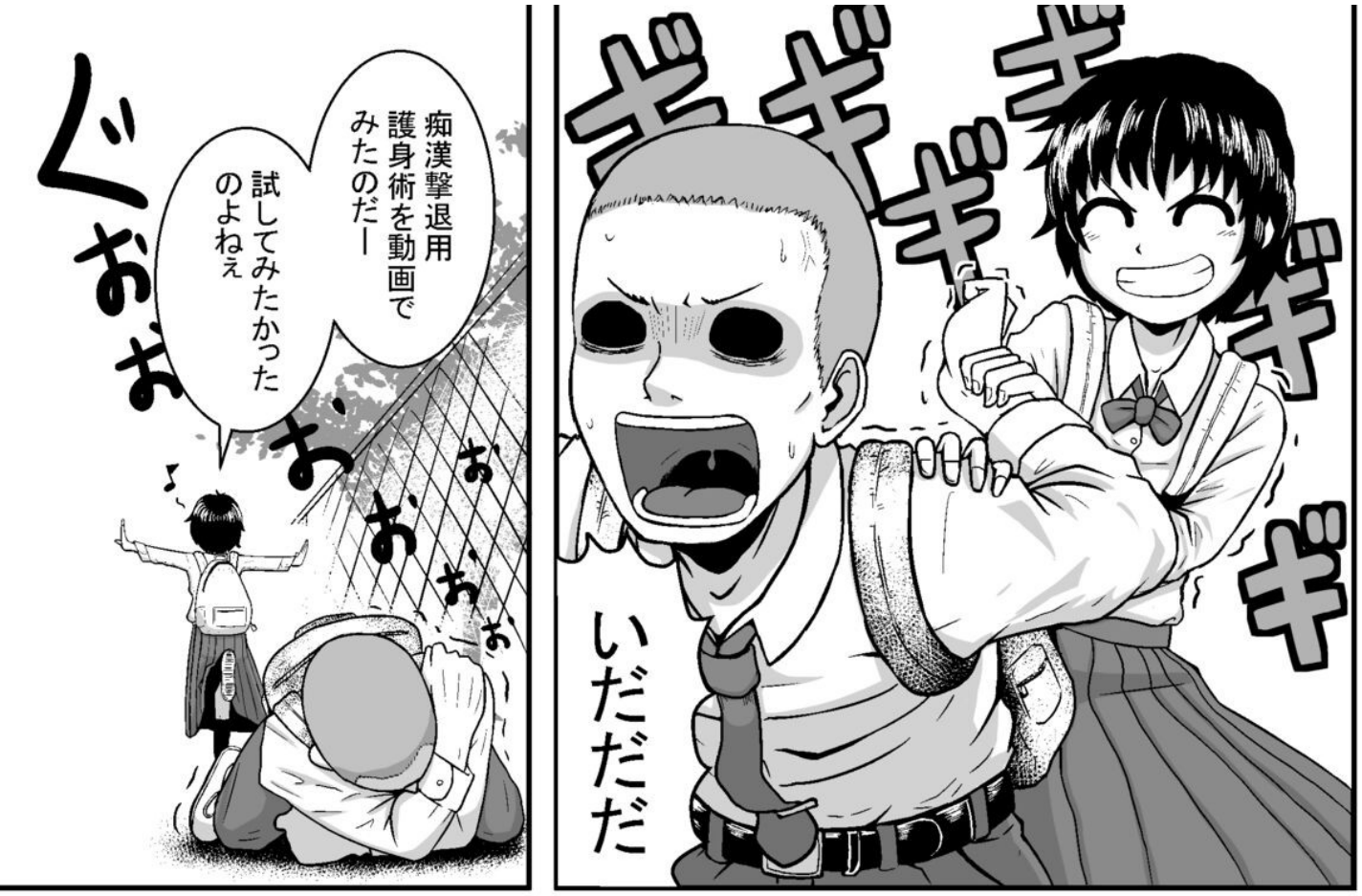
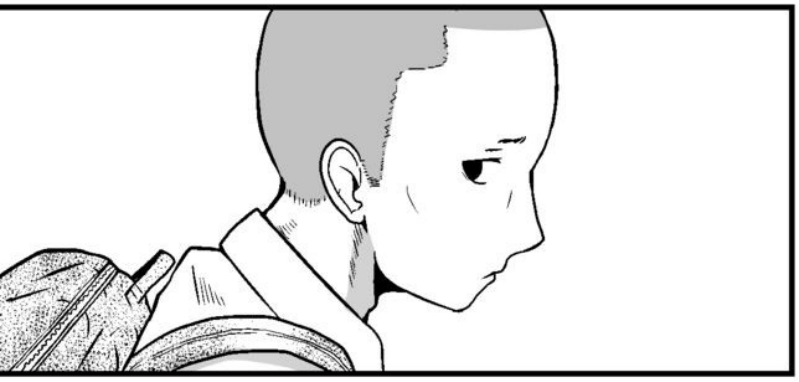
君がヤラれるくらいなら
～元気っ娘クライシス～
作＝コウヒィ

ヨシキー
おっはよー
よう
朝飯食ったか？
もやしっ子は
たんと食わんと
筋肉つかんよ？
ばん
ばん
ばん
なでなで
じょりじょりー♪
ぷるん
やかましい！
もやしゆうな！
ぐわっ
あ
ガシ


ギギギギ
いだだだ
痴漢撃退用
護身術を動画で
みたのだー
試してみたかった
のよねぇ
ぐおお
おおおお



おはよー
おはよー
ビク
ササッ
ティッ
テーン
おはよー

人見知りもせず
元気で誰にでも
笑顔を振りまく
昔からそんな彼女の
天真爛漫さに
オレは惹かれていた

ツ…ツバサってさ
どんな奴が
かっこいいと思う？

マッチョ

はぁ…

うおっ！
ドン

痛ってぇな
つっ立ってんじゃ
ねぇよ骸骨が
ぐっ…

くそがあああああああ!!

ビクッ

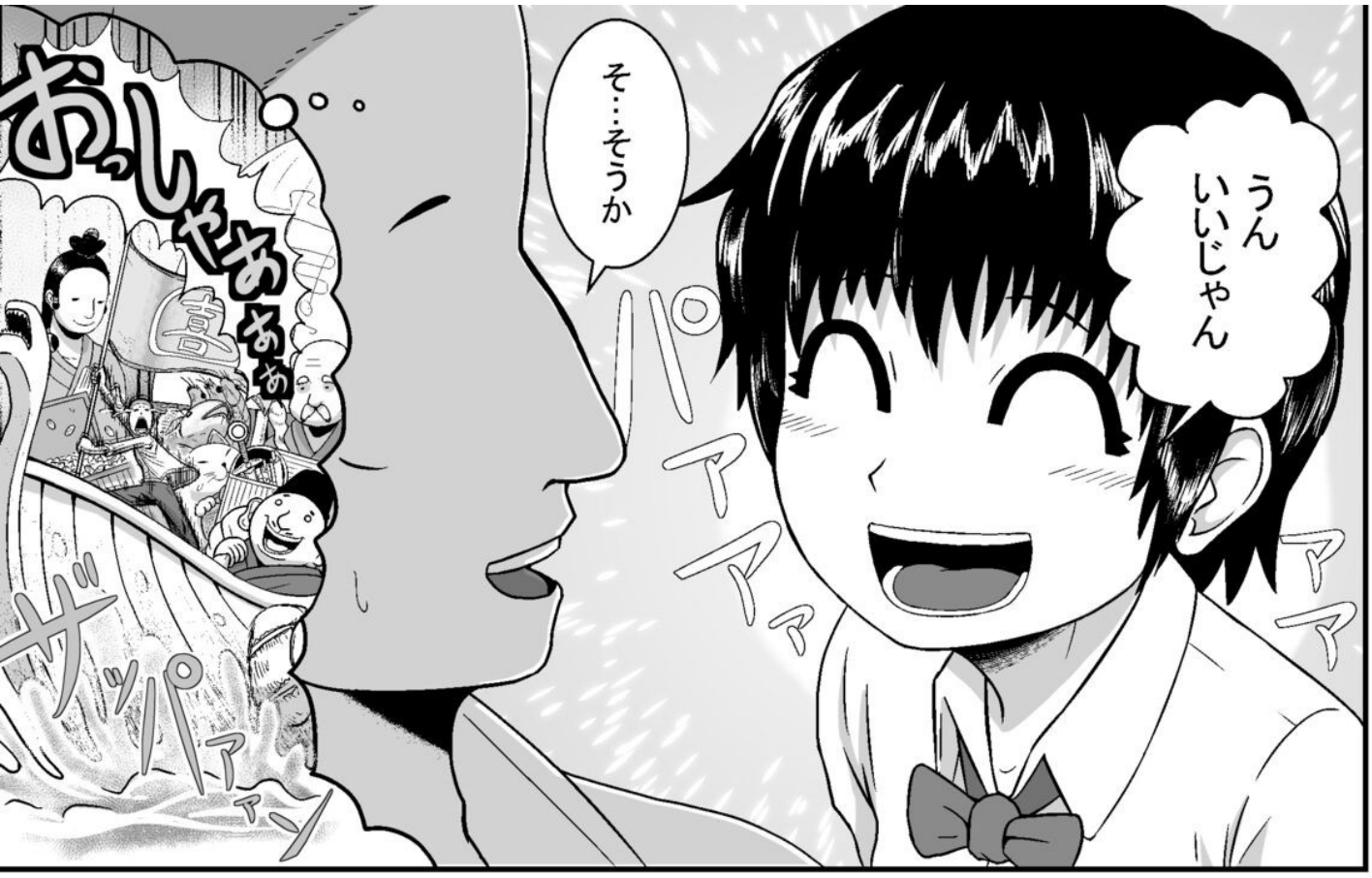
はぁ～肉体のぶつかり合いって滾るわー

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ

ほんとボクシング好きね

格闘技が好きな…

の
なんつー
これ見よがしな
だっせぇ着こなし
ヨシキぃ
あんたやりゃ
できんじゃん
ぽす
最近妙に
でかくなって
来たと思ってたら
筋トレしてたんだ
へー
ま…まあな
でどうよ？
ムキ
ドキ


うん
いいじゃん
そ…そうか
おっしゃあああ
ザッパァン
パアアァ
アア

ほぉカッチカチですなぁ
はうっ
ドキン
モミモミ

ツバサいいのか？
いいよ好きにして
ドッドッドッドッドッドッドッ

ツバサの中
すっげきつくて
気持ちいい
ずちゅ
くちゅ
ちょっと…
速いよぉ
もっと…
ゆっくり
ぱちゅ
ギッ
ギッ
ギッ
むりむり
こんなん
止まらないって
ぐぽ
ぐぽ
ぐぽ
ぱん
ぱん
ぱん

カッチカチで
引き締まった
チンチンから出る
精子で
ビクーン
ビクン
ウウ
ビレビレ
逞しい
赤ちゃん
作るのー！
最近すぐムラムラするんだよな…
筋トレのせいか？
ツバサぁ
須藤先輩が
呼んでるよぉ
あ
時々彼女に
劣情を催す
俺だが
ﾌﾙﾌﾙ

昼
購買
え！
行きます
行きます
ブッ
ギュー
あの人女遊びで
有名なのよ
ツバサも
狙われ
ちゃってたかぁ
あんたもあの子の
人懐っこさ知ってる
でしょうから
気をつけなー
ザワ…
ザワ…
ザワ…
ザワ…
ザワ…
まっ心配
いらないと
思うけど
たまに
不安と焦燥に
駆られこと
もある
ご愁傷様
はあ!?
あー
須藤先輩ね…
彼女の
分け隔て
無しの
交流に…
あいつ…
この前の

その選手の試合チケットすぐ完売しちゃうんで困ってたんですよ！
良かった青空さん前から見たがってたから
スマホに張り付いてた甲斐があったよ
それにしても格闘技ファンが増えるのは嬉しいなぁ
意外と男子でも少ないんですよねぇ
フーン
あっ試合後の感想会しませんか？
ガーン
カタカタカタ
SNSじゃ味気ないんですよねちゃんと語りたいっていうか
なんかすげぇ楽しそう…
あー楽しみ
ははは
感想会は俺んちでいいかな？
ああでも青空さんの部屋も興味あるな
はぁ…？
青空さん思った以上に積極的だね
？
スッ

いやぁ
別に自宅とか
じゃなくても
マックとかで
えー？でも騒ぐと
周りに迷惑じゃない
それにさ格闘技より
もっと面白いこと
教えてあげるから
スッ
ダッ
下校
フラ
フラ

こらぁ元気ないぞー
ごつい体と顔が合ってないよ！
いきなり出てきて叩くんじゃねえよ
どき
どき
どき
いい
あはは声でっけぇ
めんご
めんご
で？なんかあった？
ウッ…

人の気も
知らないで
誰とでも仲良く
なれるのはいいけど
なんか…なんか…
？
イラ…
須藤とは前から
知り合い？
ああなんか
最近格闘技
ハマったらしくて
色々教えてって
言われたから
ちょくちょくね

話も面白いから会話もはずんじゃうなぁ
うぅ…騙されてる…
へっ…へぇ
ちなみにあいつがどんなやつかわかってる
んー？すごく優しいよ
最近ぁ…
なぁおまえの好みって筋肉質なやつだよな？
別にあいつはちがうじゃん？
え？
なんの話？別にそんなことないよ
体格がいいのは男女どっちもカッコいいじゃん
わたし女子プロだって見てるけど？

え？

いや
待て待て待て

ああ先輩に
女子プロも
すすめて
みようかな

マッチョは単純に
カッコいいってだけで
男の好みでは
ないってこと？

ザワ…

ザワ…

ザワ…

つまりオレの
努力は無駄で

このままだと
結局ツバサは
須藤にとられて

そんなの…

そんなの
だめだ

ガーン
俺が頑張って
辛い筋トレ耐えて
ツバサに振り向いて
もらおうと
努力してきたのに
お前は簡単に
須藤にひっかかって
オレが馬鹿
みたいじゃんか！
痴漢撃退
マニュアル奥義…
スゥ…
橈骨(トウコツ)捻り
ぐわっ
ガッ

あれ？
ぴたり…
ギッ
ぐぐっ
え？ちょっ
ちょっと…
ドクン
ドクン
あ…

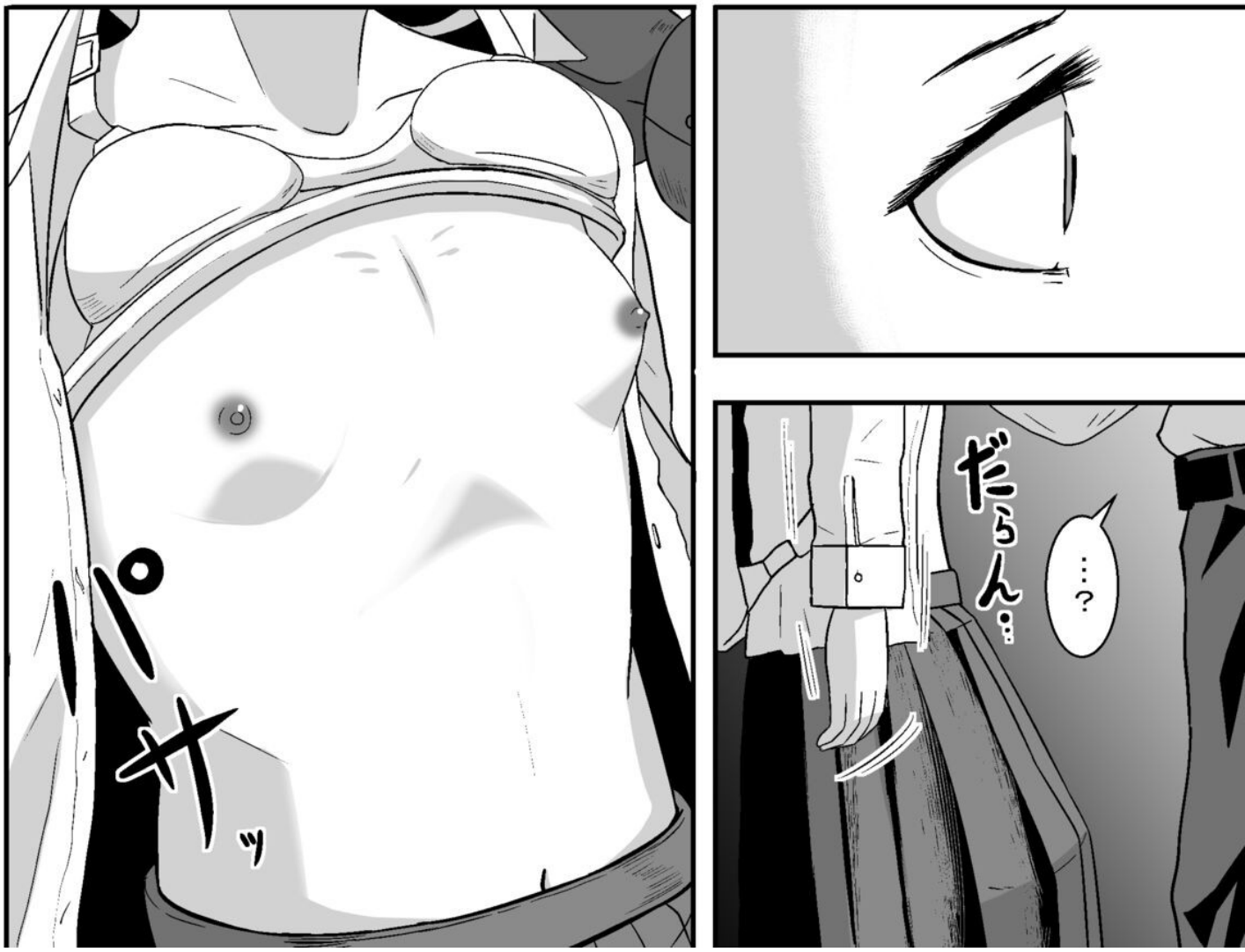
軽い…
そりゃそうか
まともにやったら
力に差があるよな
思わず
掴んじゃったけど
これってなんか…
ヨシキ…？
たじ…

え!?
グイッ
スタスタスタスタ
ちょっ
痛い痛いって
なに?
なんなのよ
なんか
いってよ!
痛っ!
ドン

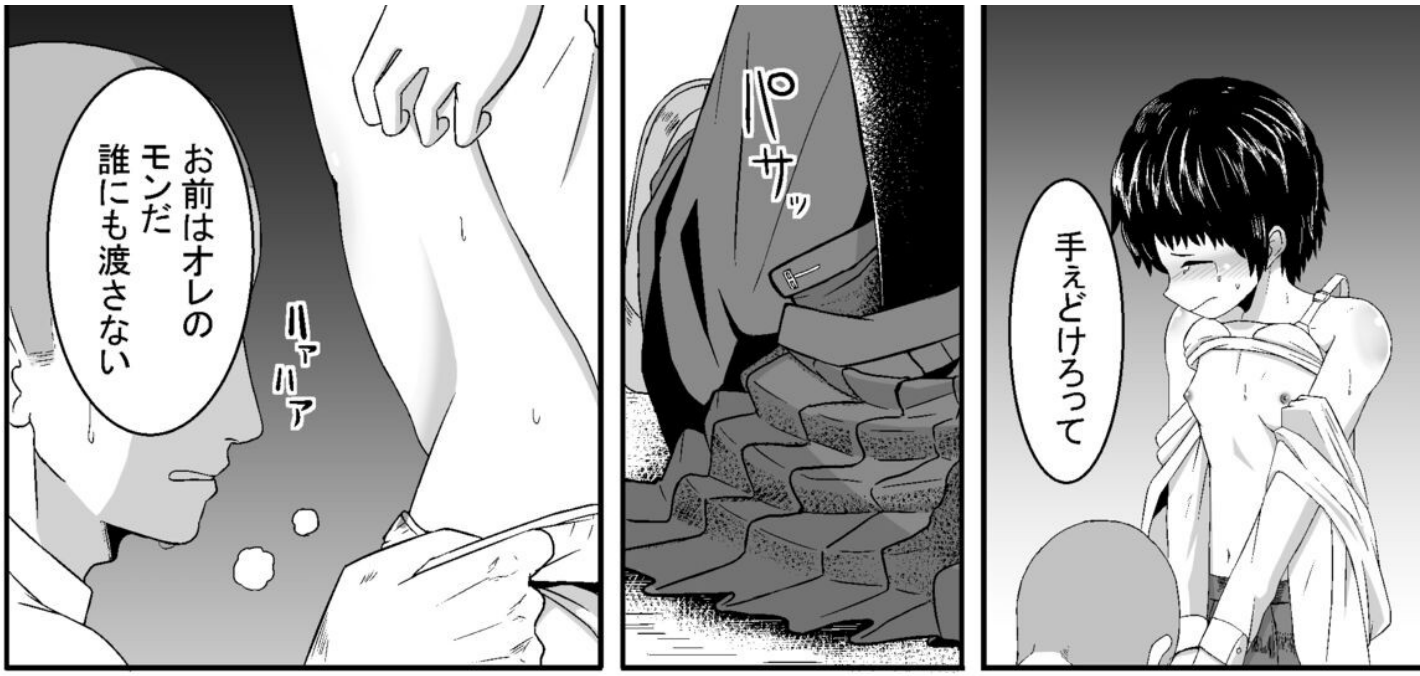
はは…
もやしく~ん
なんか誤解が…
んぐっ
ぐにゅ
んんー!!
んー!

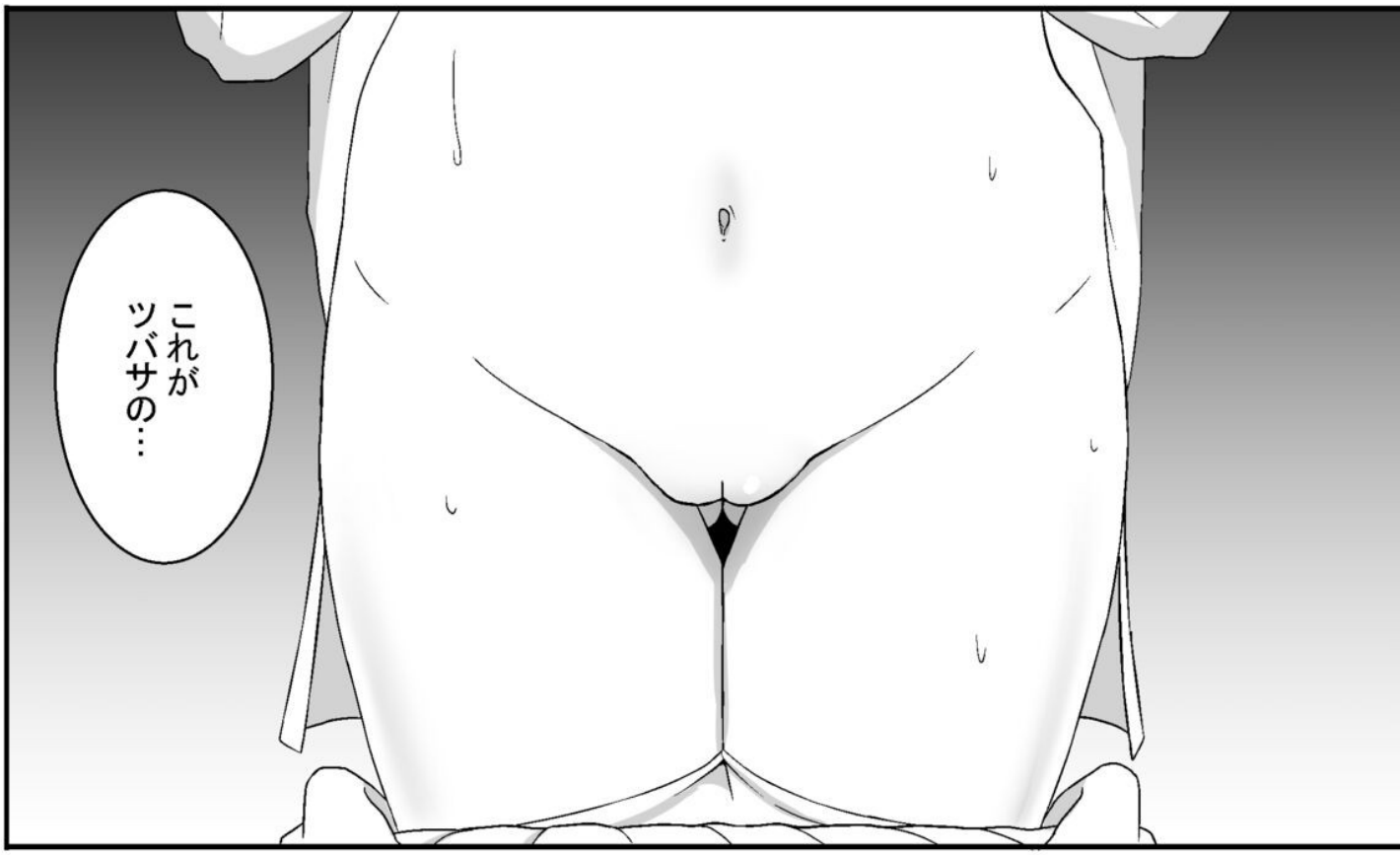
ぷはっ
かはっ
ギギ
モゾ
やっやだ
何手ぇ入れてんの!?
やめてよ！
いきなり
なにすんのよ
変態！
馬鹿！アホ！
んぐ！
ガッ
プチ
プチ
プチ
プチ

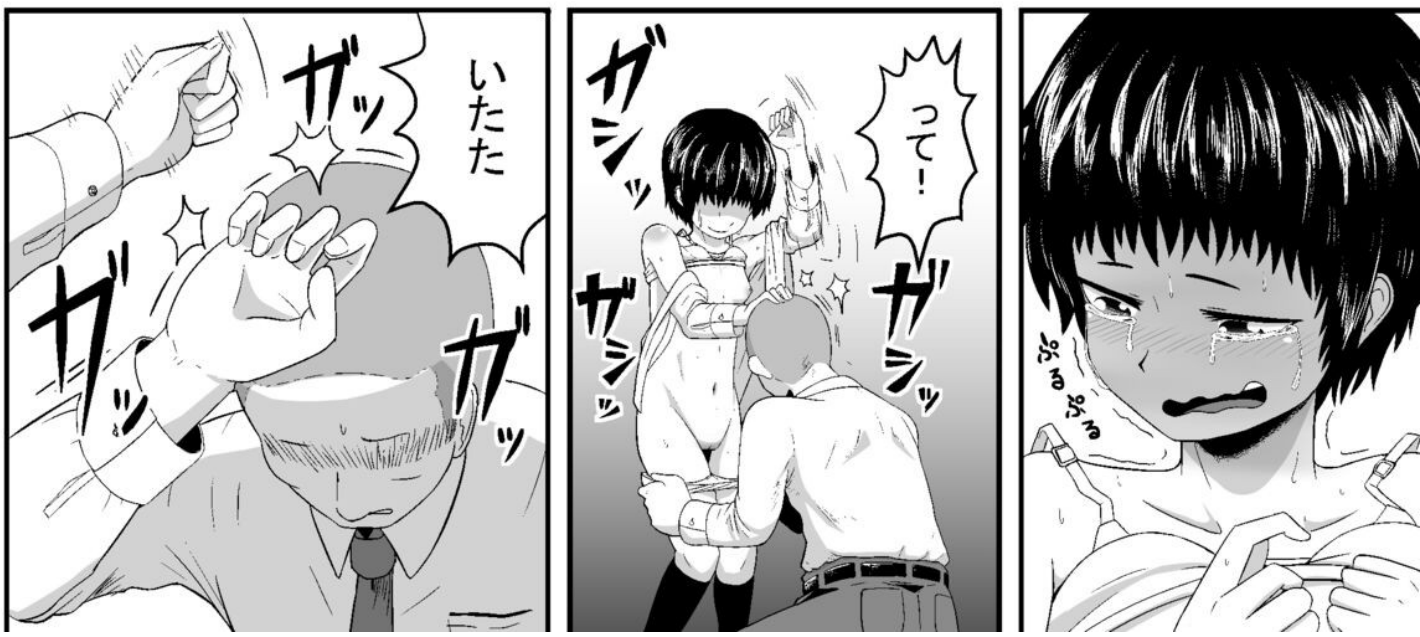
昔から能天気で
愛想よくって
簡単に他人を
信用して…
ぐいっ
だからあんな奴に
目ぇつけられるんだ
その性格が…
今は苛立って
しょうがねぇよ！
びくっ


…？
だらん…
パサッ

ふにっ
ツバサの胸…
くにゅう
柔らかい
ヨシキ…やめようよねぇ
気に障った事があるなら謝るから…
カタカタ
いやだ今更止めるかよ

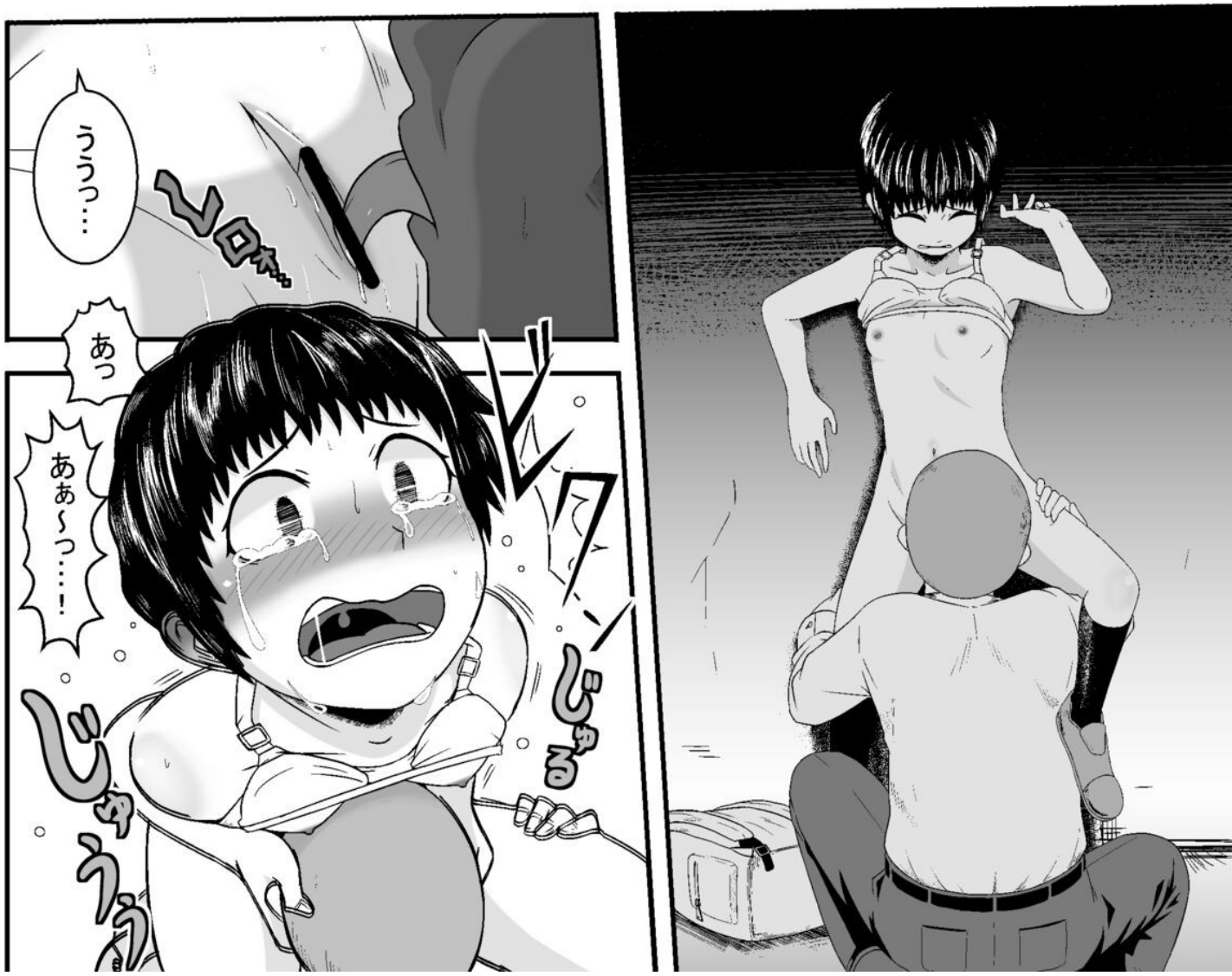

手ぇどけろって
パサッ
ハァハァ
お前はオレのモンだ誰にも渡さない


これがツバサの…

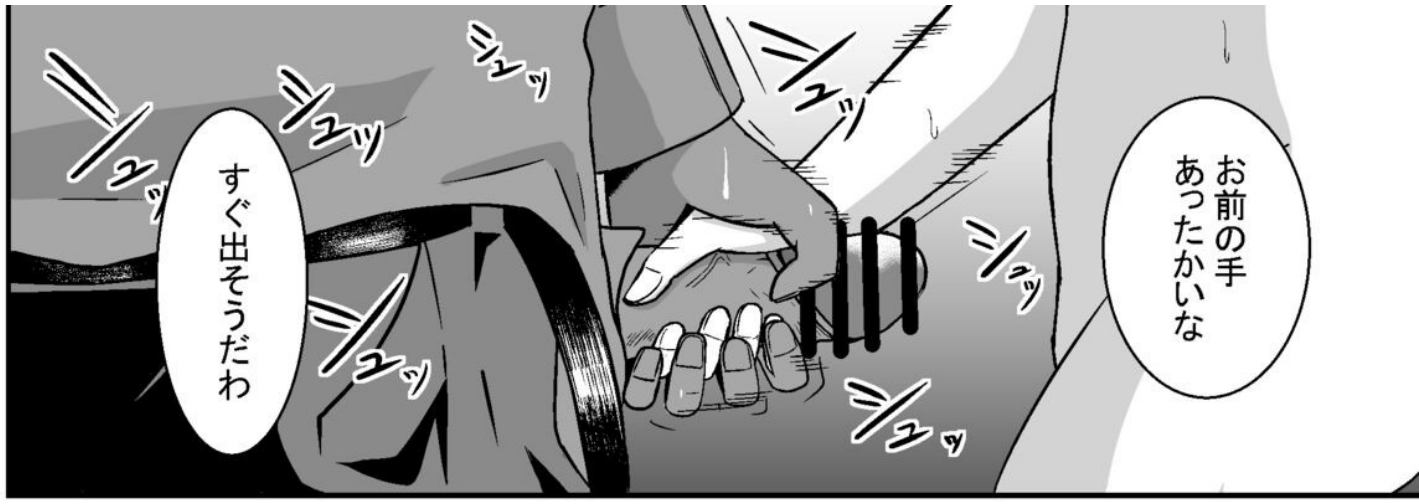

ぷるぷる
って！
ガシッ
ガシッ
ガシッ
いたた
ガッ
ガッ
ガッ

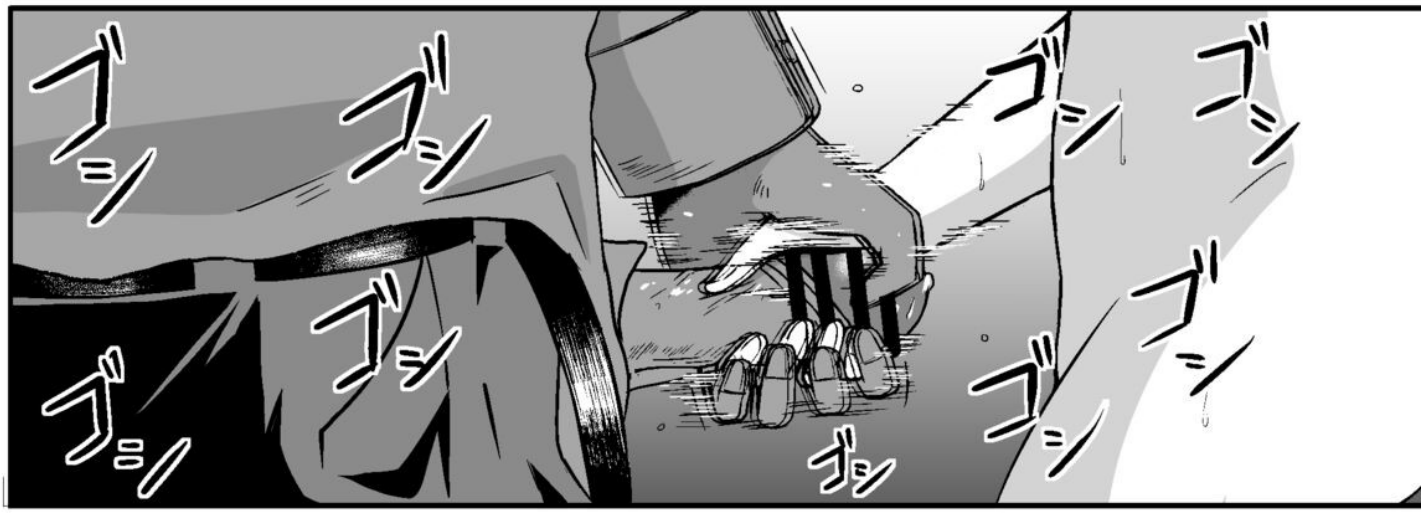
ガバ
大人しくしてくれって…
ドン
言ってるんだよ！
はは…は…
あっ…足開けよ
ハァ
ハァ
夢にまで見たツバサのマンコこんな近くに…
ガクガク
う…
あぁ
ハァ
ハァ
ドクッドクッドクッ
くぱぁ…
ニチャ…

キレイだ
スリスリ
ふー
ふー
ぬる…
くちゅっ…
ふるふる…
なんだよ
感じてんのか？
普段の
お前からは
想像つかねぇな
ぬらぬ…
ハァ
ハァ


ううっ…
ソロ〜ッ
あっ
あぁ〜っ…！
ビクン
じゅる
じゅうう

れと…
カキャカキャ
グニグニ
ひっ
俺のも触ってくれよ
ギュウ
ビクッ
ツバサの裸見てこうなったんだ
今までこんなに硬くなったことないんだぜ
そのまま握って
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
シュッ
シュッ

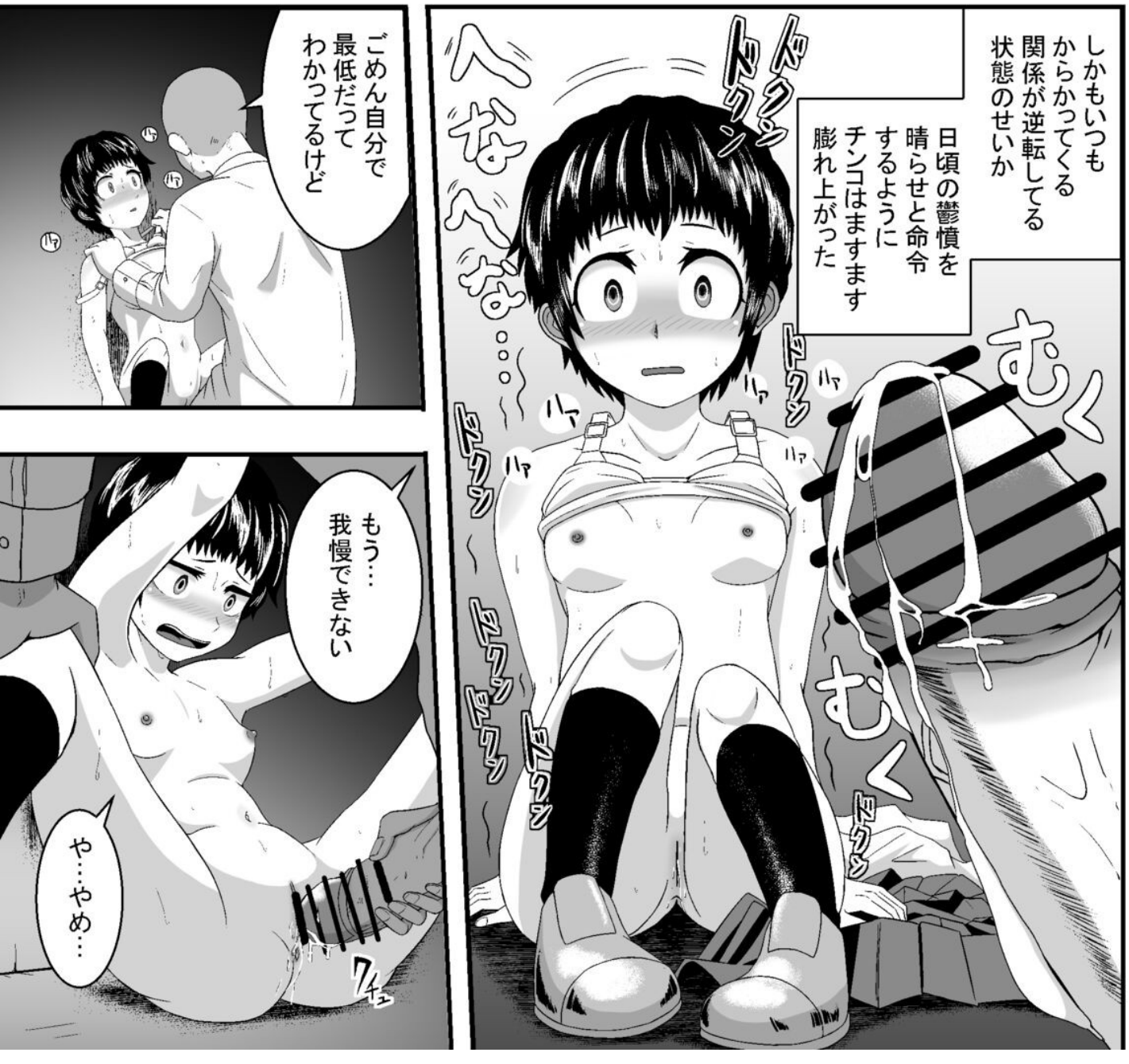

お前の手
あったかいな
すぐ出そうだわ
シュッ
シュッ
シュッ
シュッ
シュッ
シュッ


ゴシ
ゴシ
ゴシ
ゴシ
ゴシ
ゴシ
ゴシ
ゴシ

イク
え？
ひやっ！
ぴちゃ
ぴちゃ
びゅくっ
ビクッ

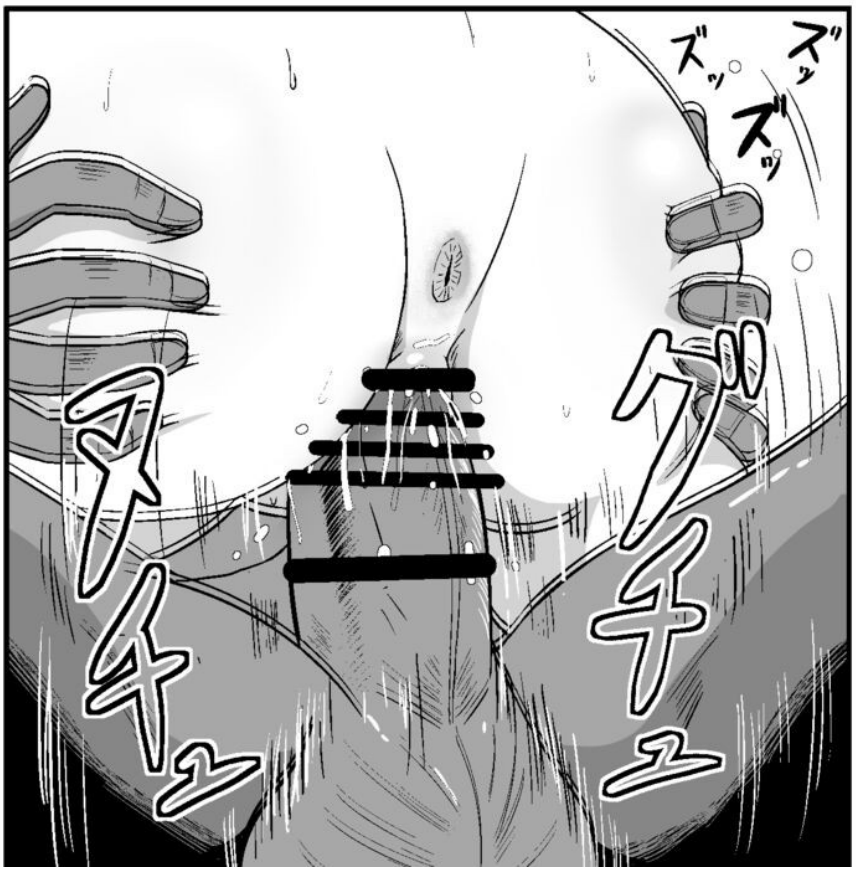
ごくっ

ツバサの手すっげえ気持ちよかった
あ…あ…
ハッ
ハッ
ハッ
ドロ…
ハァ
ハァ
普段明るく無邪気にしている時とは違って
今のツバサは想定外の状況に完全に混乱していた
イッエーイ


しかもいつもからかってくる関係が逆転してる状態のせいか
日頃の鬱憤を晴らせと命令するようにチンコはますます膨れ上がった
へなへな…
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ハァ
ハァ
ハァ
むく
むく
ごめん自分で最低だってわかってるけど
もう…我慢できない
や…やめ…
ヌチュ

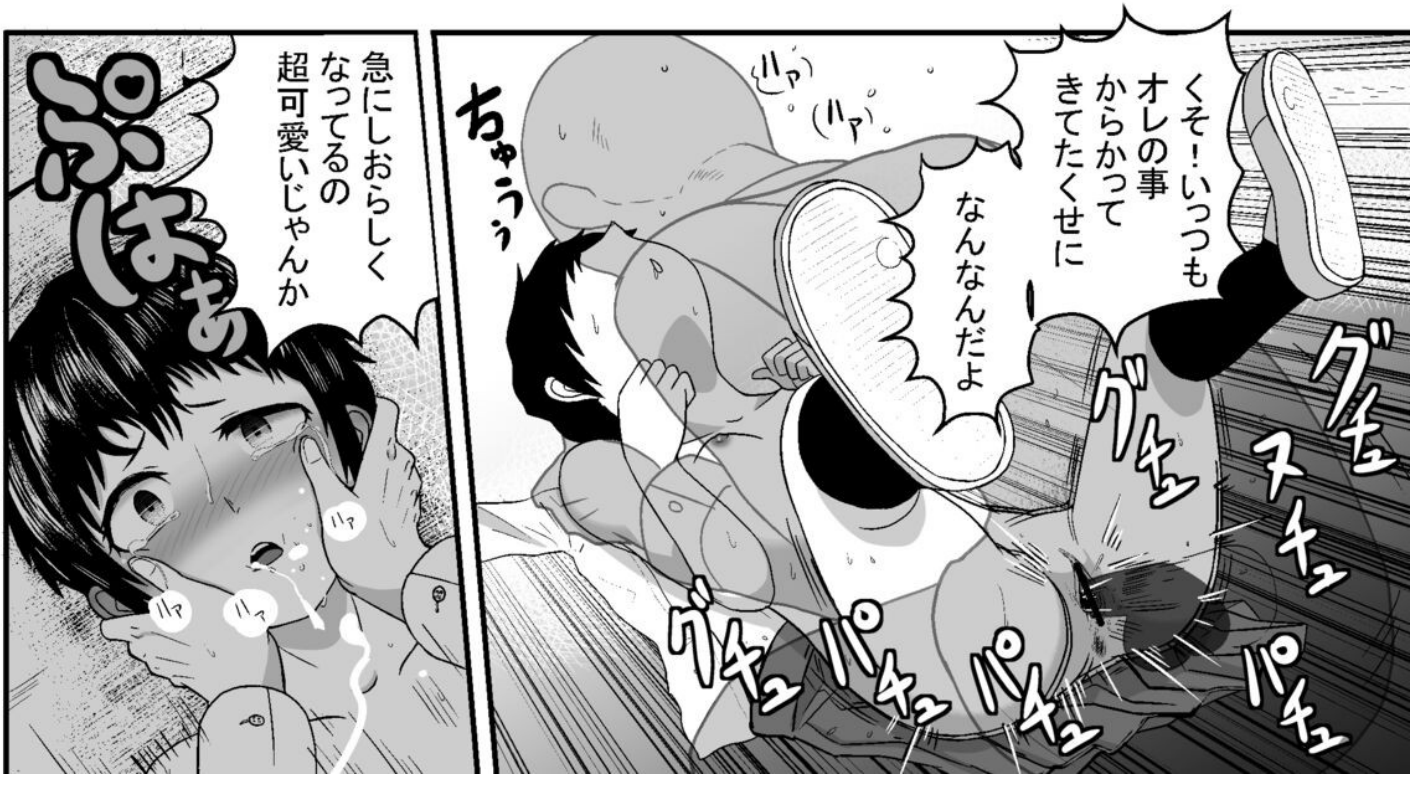
ニチュ…
ヴヴヴ
入ら…ない
ギッギッ
入らない…からぁ…
ふっ！
がっ！
ぴゅっ♥
ぴゅっ♥
ピーッ
ピーッ
ッ……！

はははやっぱり
初めてだよな？
よかった
まじでよかった
嬉しいよオレ
今から動くから
我慢してくれ
ハァ
ハァ
ハァ
キュッ
ヌルァ…


ズッ
ズッ
ズッ
グチュ
グチュ

ゆさ
ゆさ
んっ
ア
ア
うっ
ぎゅっ
クチュ
クチュ

パン
パン
ずちゅ♥
ずちゅ♥
パン
パン
思ってた
形じゃないけど
ずっとこう
したかったんだ
んっ
おまえの事
抱きたくて
しょうが
なかったんだよ
ガクッ
ガクッ
ひぐっ
ズッポ
ズッポ
プチュッ
プチュッ
ぬぬぬぬぬん
あったかくて
ぬるぬるしてて
最高だ


くそ！いっつも
オレの事
からかって
きてたくせに
なんなんだよ
ちゅうぅ
グチュ
グチュ
グチュ
パチュ
パチュ
パチュ
急にしおらしく
なってるの
超可愛いじゃんか
ぷはぁ

ぎゅうう
ギギ
痛い…
痛い…
ガクッ
ガクッ
ツバサが
こんな痛がって
苦しそうなのに
体が全然
止めようと
してない
だってこいつが
悪いんだよ！
オレに振り向いて
くれないから
ズッ
ズッ
くちゅ
くちゅ
ぐちゅ
ぷちゅ
ぐぽっ
ぬる
ぷちゅ
ぐちゅ
ぷちゅ
ぐちゅ
ぬちゃ
パン
パン
パン
パン
イキそう
出していいか？
ツバサの膣内に
出していい？
ンッ!!
マッ!!
ヤッ

責任とるから
絶対とるから
フル
フル
ズッズッ
ぐぐぐ…
いいわけ…
ないでしょ…
パン
パン
パン
パン
パン
ぎゅうぅぅー!
ぎっ!
ヴ
ヴ
ヴ

出す絶対
妊娠させる
や…やめて…
デキちゃう
から…
やだ…やだ！
やだっ！外にい
オレの精子
受け止めてくれ

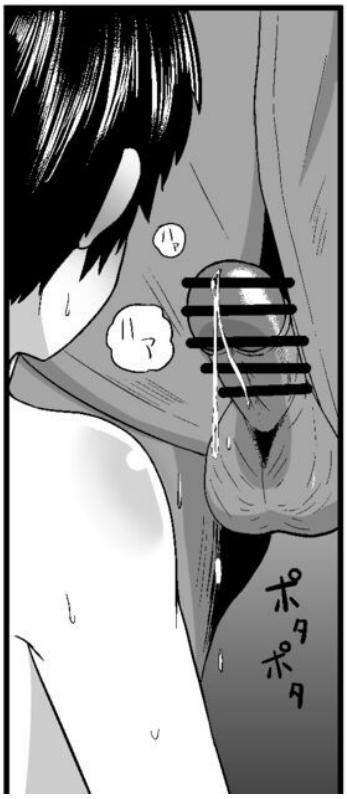
びくん!!
ドクドク
ドクドク
ぼたぼた

くっ
奥に…
ドクッ
ドクッ
ぶぴゅるる

ガシッ
ガシッ
…っ！
…っ！
ガッ

ギュッ

次…口で
じ


ポタポタ

ぬぽぉ…
ぴゅ、ぴゅっ

ポイ

ぐぐっ…
止めないと…
噛むよ…
ぐにゅ…
ぎゅっ
噛んでもいい

他の男に取られる
くらいなら
ハァ
ハァ
ハァ
ぐぽ
ぐぽ
先にオレがお前の
身体全部使ってやる
ン
ングッ

んん…！
じゅちゅ
じゅる
うぐっ
かはっ！
プハァッ
んぶ！
ポッ

ぐぽ
じゅぽ
じゅぽ
じゅる
なんだよ
噛まないのかよ？
カク
カク
グッグッ
出すぞ顔に
かけるからな

でろぉ…
ハァ
ハァ
足りない…
満足できない
だめだ
治まるどころか
興奮が余計に…
むく
むく
びちゃ
びちゃ

もっと…
もっと
汚さないと
ア!!
ン!!
ヌル
ヌル
パンパン
パンパン
パンパン
ズッ
ズッ
ハァ
ハァ
ハァ
グチュヌチュ

ひょっとして
ほんとは
お前も
気持ちいい
んじゃないのか
パン
パン
パン
パン
パン
ハァ
ハァ
ズチュズチュ
段々締まりが
とぷん
とぷん
ぐぽ
ぐぽ
よくなって
きてるぞ

また…イク
ん…くっ

ガク
ガク

ぐちゅ
ぬちゃ
ハァ
ハァ
ずちゅ
ア…っ
ズッ

うぁ
ボタ
ボタ

にゅるん
ブルン
ぴちゃ
ぴちゃ
まっまだ!?
ぐい
ぐぐぐ
イヤッイヤッ
グニュウ…
ドロ…

ズーン
ウッ!!
ガッ
ぐちゃ
ガクッ
ガクッ
ハッ
ハッ
ずぷずぷ
前の俺だったらこんな体勢できなかったけど
鍛えてて…よかった
ツバサにこんな恥ずかしい恰好させられるなんて
ずっぽり根元まで
ずちゃ
ずちゃ
丸見えじゃねぇか！

がばっ！
ズン
ハァ
ハァ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
パン
パン
パン
パン
俺だけだ！
お前のみだらな
姿見られるのは！
にちゅ
にち
俺だけなん…
ぐちゅ
ぬちゃ
ぐちゅ
ぬちゃ
イッ…
グッ
だあああー
――――！

ゴポゴポ
プシャアアァ
ダメ絶頂!!

ドロ…
まだ
まだ
フーフー
金玉が
空になるまで
にぃぃ
俺
自身を
パチュ
パチュ
パチュ
パチュ
フッ
ウッ
アッ
ぐちゅ
にちゃ
ぐちゃ
ぬちゃ
染み付ける
つもりで
ウァ
パン
パン
パン
オレのもの
だって
わかるように

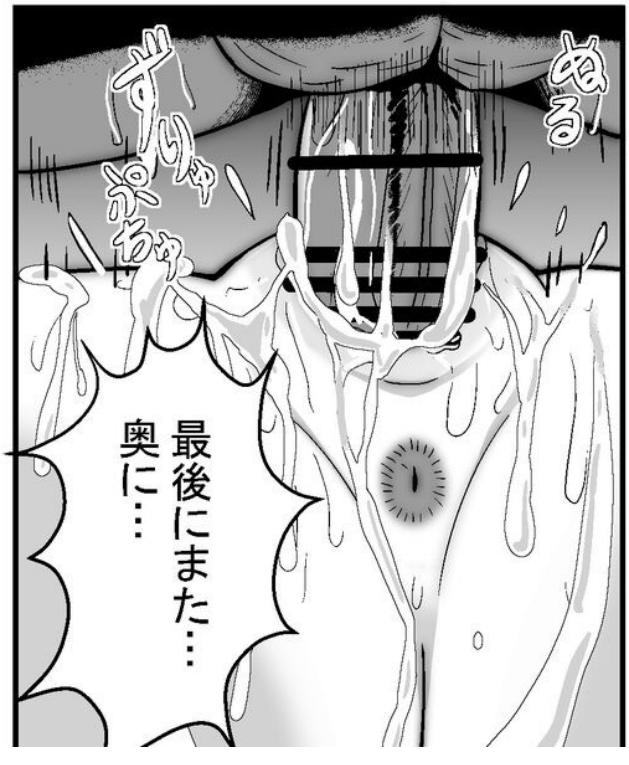
ビュー!!
かけて
ビュルルル
ドクドク
ビチャ
ビチャ
ハッ
ハッ
出して!
ビチャ
休ませて
びゅく
また
ゴポゴポ
飲ませて
ゴブッ
ドプゥ!
出す!
ビチャ
ビチャ
ドピュ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
パン
イギ
アッ!!
パン
パン
ヴァ

ぷしゅうう——
オレ…昔から
ずっと
ツバサの事が
好きだ

はあ…
はあ…
ズッ
ズッ
ぐぽっ
ぐぽっ

ちゅく
最低なこと
してるって
わかってるから
ぐぢ

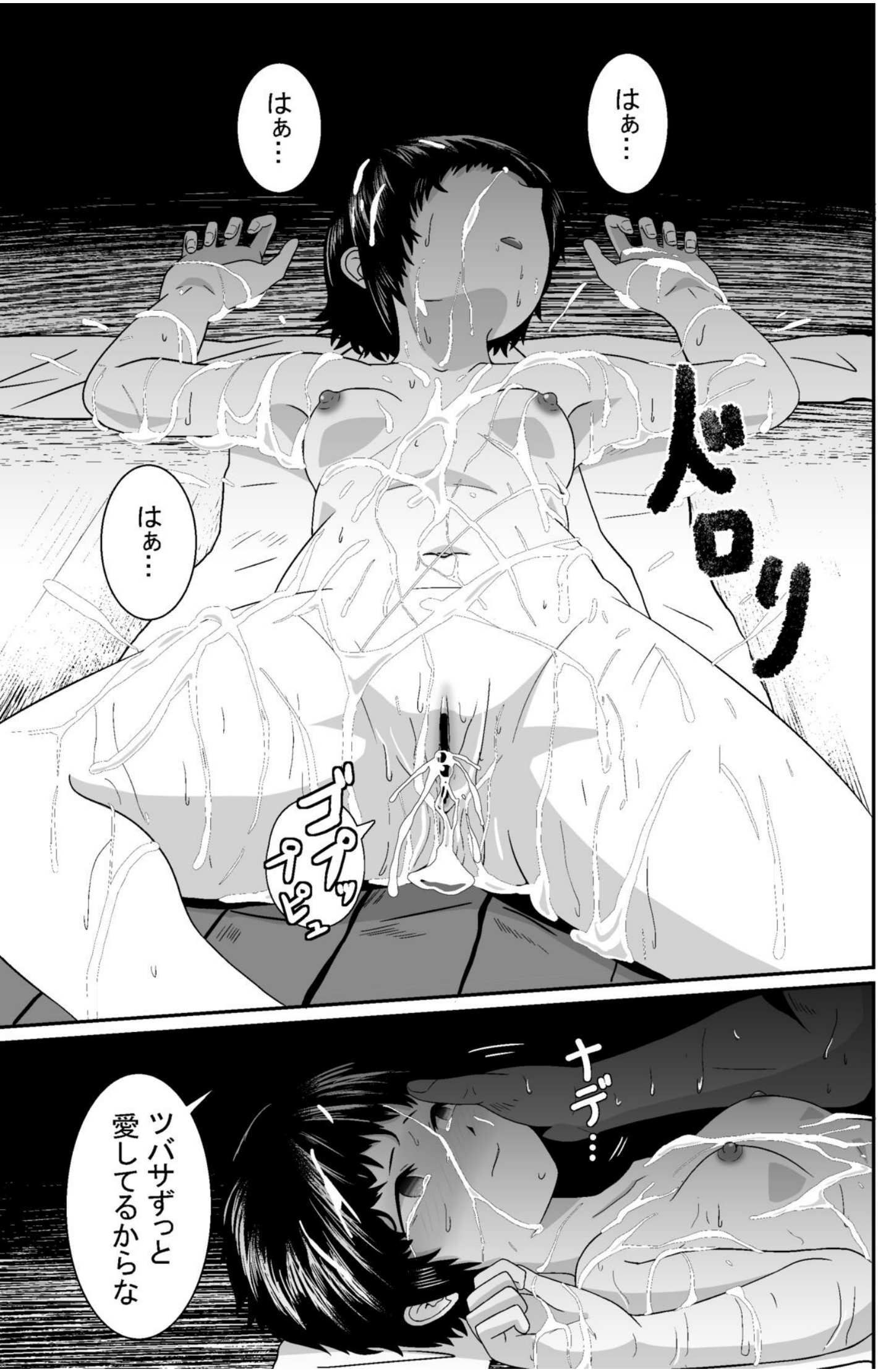
お前がオレの事
どう思ってるか
わかんないけど
嫌われてもいい
ハァハァ
パコ
パコ
ヌルヌル
フッ
フッ


ぬる
ずりゅ
ぷちゅ
最後にまた…
奥に…

パンパンパンパン
パンパン
パンパンパン
ただ隣に
いるだけで
いいから
オレがお前を
支えるから
他の
野郎の
所になんか
行かない
でくれ
ヌチョ
グチュ

ギュ
ギュ
ちゅうじゅる
ゴポ
ドプ

いだだだっ！
いってぇ
なんなんだよ
一体！
そんな
嫌がること
ないじゃん！
あはは
ごめーん
わたしこれでも
好きな人
いるんですよ
昔からなんだかんだ
私のわがままを
許してくれる人なんで
じゃっ♪
試合楽しみに
してますね


はぁ…
はぁ…
ズロリ
はぁ…
ブプッ
ナデ…
ツバサずっと
愛してるからな

最近ツバサって
鈴村と一緒に
いるけど
付き合ってるの？

さぁでも
強そうな男が好きって
言ってたから
そうなんじゃない？

でもなんか
元気ないね

ツバサ…

いいの…
今までわがまま
言ってきたから

大人しくなろう
彼がそういう
私を望んで
いるなら…